

Cited Reference 1

Abridged Translation of Utility Model Application Publication Sho59-188812U

Publication Date: 14 December 1984
Application No.: Sho-58-084266
Filing Date: 1 June 1983
Applicant: KINNKI PRINT CO
Inventors: SHIMADA KATSUYUKI
Title of the Invention: Package for changing marks

Brief Explanation of the Utility Model:

The present utility model relates to a hinge-lid cigarette package. The package can be automatically opened by pushing, and is characterized in that an opening 13 is provided in an outer front wall 12, and arbitrary marks 15, 16 are prepared on an inner front wall 14, so that they can be seen through the opening 13 at the time of opening or closing the lid 6.

Brief Explanation of Figures 1 to 4:

Figures 1 and 2 show the perspective views of a hinge-lid cigarette package in the closed and opened states of a lid, respectively.

Figure 3 depicts a front view of an inner box.

Figure 4 shows a central sectional view in the opened state of a lid.

Symbols Used:

- 1 Outer box
- 4 Inner box
- 5 Body of Inner box 4
- 6 Lid of Inner box 4
- 12 Front panel of Outer box 1
- 13 Opening
- 14 Inner front wall
- 15, 16 Mark

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59-188812

⑭ Int. Cl.³

B 65 D 5/38
5/52
5/66

識別記号

庁内整理番号

6540-3E
6540-3E
6540-3E

⑬ 公開 昭和59年(1984)12月14日

審査請求 有

(全 2 頁)

⑭ 表示変換容器

3

⑯ 実 願 昭58-84266

⑯ 出 願 昭58(1983)6月1日

⑯ 考 案 者 嶋田勝行

宝塚市仁川北2丁目13番46-20

⑯ 出 願 人 近畿印刷株式会社

大阪市西淀川区御幣島5丁目12
番24号

⑯ 代 理 人 弁理士 秋山鳳見 外2名

⑮ 実用新案登録請求の範囲

角筒状に成形した外箱1の背面板2の上端に弾力を有させて内方向に折曲げて成る舌片3を延長設備し、内箱4の主体5と蓋体6とを内箱背板7の仰屈用折目8を介して建設し、蓋体6の背側板9の背面に遊離垂下する垂下板10を背側板9上端に建設し、外箱1の舌片3と係合して蓋体6を仰開させる係合片11を前記垂下板10に切込み折返し成形した押上自動仰開式容器に於いて外箱正面板12に切抜き窓13を設け、閉蓋時及び開蓋時に内箱腹板14の前記外箱の窓13に露出する部分に任意表示15、16を施したことを特

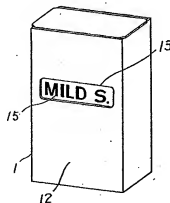
徴とする表示変換容器。

図面の簡単な説明

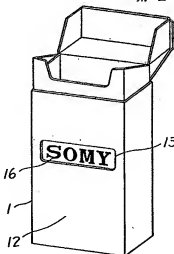
添付図面は本考案実施の一例を示すもので、第1図は閉蓋時、第2図は開蓋時の夫々斜視図であり、第3図は内箱の正面図、第4図は開蓋時の中央縦断面図である。

1……外箱、2……背面板、3……舌片、4……内箱、5……内箱主体、6……内箱蓋体、7……内箱背板、8……仰屈用折目、9……蓋体の背側板、10……垂下板、11……係合片、12……外箱正面板、13……切抜き窓、14……内箱腹板、15、16……腹板部の表示。

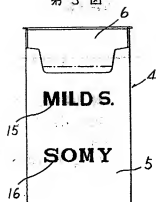
第1図



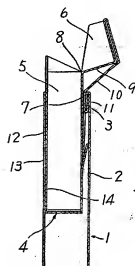
第2図



第3図



第4図



⑨ 日本国特許庁 (JP)

実用新案出願公開

⑩ 公開実用新案公報 (U)

昭59—188812

⑪ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑫ 公開 昭和59年(1984)12月14日

B 65 D 5:38

6540—3E

5:52

6540—3E

5:66

6540—3E

審査請求 有

(全 頁)

⑬ 表示変換容器

3

⑭ 実 願 昭58—84266

⑮ 出 願 人 近畿印刷株式会社

⑯ 出 願 昭58(1983)6月1日

大阪市西淀川区御幣島5丁目12

⑰ 考 案 者 嶋田勝行

番24号

⑱ 代 理 人 弁理士 秋山鳳見 外2名

宝塚市仁川北2丁目13番46—20

明 細 書

1. 考案の名称 表示変換容器

2. 実用新案登録請求の範囲

角筒状に成形した外箱 1 の背面板 2 の上端に弾力を保有させて内方向に折曲げて成る舌片 3 を延長設備し、内箱 4 の主体 5 と蓋体 6 とを内箱背板 7 の仰屈用折目 8 を介して連設し、蓋体 6 の背側板 9 の背面に遊離垂下する垂下板 10 を背側板 9 上端に連設し、外箱 1 の舌片 3 と係合して蓋体 6 を仰開させる係合片 11 を前記垂下板 10 に切込み折返し成形した押上自動仰開式容器に於いて、外箱正面板 12 に切抜き窓 13 を設け、閉蓋時及び開蓋時に内箱腹板 14 の前記外箱の窓 13 に露出する部分に任意表示 15、16 を施したことを特徴とする表示変換容器。

3. 考案の詳細な説明

本考案は押上自動仰開式容器に於いて、外箱正面板に切抜き窓を設け、開蓋時及び閉蓋時に内箱腹板の前記外箱の切抜き窓に露出する部分に任意表示を施してなる表示変換容器に関するも

のである。

押上自動仰開式容器類は本考案者により考案され、種々改良を加えて、例えば実公昭42-152、同42-153、同53-12254号等多数の出願をなし権利化されているが、これらの容器に更に工夫をこらして開閉蓋時に於ける表示を交換させ一層の利用価値を増し、趣味感を満足させる容器を提供することを目的として考案されたものである。

今こゝに本考案実施の一例を示した添付図面について詳説する。

1は角筒状に成形した外箱であり、3は外箱1の背面板2上端に連設した舌片であり、弾力を保有させて外箱内方向に折曲げて形成するものである。4は内箱であり、内箱4の主体5と蓋体6を内箱背板7の仰屈用折目8を介して連設する。10は内箱蓋体6の背側板9の背面に遊離垂下する垂下板であり、背側板9上端に連設するものである。11は外箱1の舌片3と係合して蓋体6を仰開させる係合片であり、前記垂

下板 10 に切込み折返して成形するものである。

13 は外箱正面板 12 に穿設した切抜き窓であり、15 は閉蓋時内箱腹板 14 の前記外箱の切抜き窓 13 に露出する部分に施した表示、16 は開蓋時内箱腹板 14 の前記外箱の切抜き窓 13 に露出する部分に施した表示である。

本考案は以上の如き構成を有し、たばこ、チョコレート、キャンデー等の容器として利用する場合、閉蓋時切抜き窓 13 に露出する内箱腹板部に、例えば「MILD SEVEN」、「PEACE」といつたたばこの名柄表示 15 をなし、開蓋時切抜き窓 13 に露出する内箱腹板部には、これらの商品とは全く無関係の会社名の宣伝等の表示 16 をなすことも可能であり、閉蓋時と開蓋時に於ける表示が変換され、興趣をそゝり又宣伝効果等を上げることができるもので、この種容器として利用価値のあるものである。

4. 図面の簡単な説明

添付図面は本考案実施の一例を示すもので、第 1 図は閉蓋時、第 2 図は開蓋時の夫々斜視図で

あり、第3図は内箱の正面図、第4図は開蓋時の中央縦断面図である。

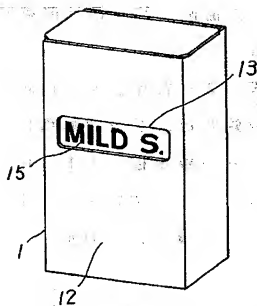
1…外箱、2…背面板、3…舌片、4…内箱、
 5…内箱主体、6…内箱蓋体、7…内箱背板、8…仰屈用折目、
 9…蓋体の背側板、10…垂下板、11…係合片、12…外箱正面板、13…切抜き窓、14…内箱腹板、15、16…腹板部の表示。

出 願 人 近 畿 印 刷 株 式 会 社

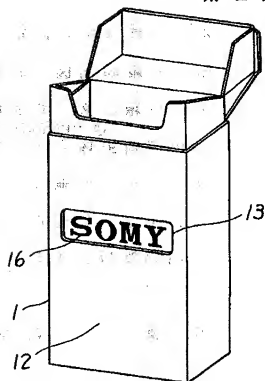
代 理 人 秋 山 鳳 見

(ほか2名)

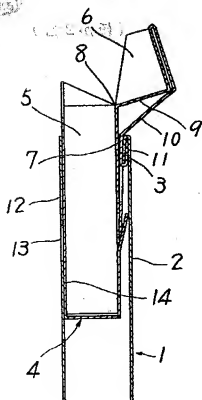
第 1 図



第 2 図



第 4 図



第 3 図

